



愛媛県における空飛ぶクルマに 関するこれまでの取組みについて 2025年2月



【内容】

愛媛県の地勢/主な観光資源

愛媛県の過疎・離島の状況

愛媛県と近隣県との位置関係

愛媛県のこれまでの取組状況（全体）

愛媛県のこれまでの取組状況（各取組み）

まとめ

愛媛県の地勢/主な観光資源

人口: 1,272,222人

(R7.1.1現在 県企画統計課推計)

面積: 5,675.89 km²

(R6.10.1国土地理院)



リアス式海岸



海中公園



道後温泉



滑床溪谷キャニオニング



石鎚山



潮流体験

瀬戸内海

しまなみ海道

四国カルスト

➤ 東・中・南予、各地域ごとに特色を持ち、バランスの取れた産業構造となっています。

- 【東予】 製造業・ものづくり企業の拠点
- 【中予】 ITや商業・サービス産業が集積
- 【南予】 一次産業(農林水産業)の地域

宇和海海域公園

宇和海

伊方町

八幡浜市

伊予市

松前町

道後温泉

松山市

今治市

新居浜市

西条市

東温市

石鎚山

久万高原町

内子町

大洲市

西予市

鬼北町

宇和島市

愛南町

広島県

多々羅大橋

⑤ 大山祇神社

瀬戸

上島町

② 来島海峡大橋

③

④

①

⑥ 佐田岬半島

⑦

香川県

徳島県

愛媛県の過疎・離島の状況

過疎地域の状況

○法指定の過疎地域を含む市町
20市町中17市町

人口：310,841人（県の23.3%）
面積：3,737.46km²（県の65.8%）

【地域の抱える課題】

- ・人口、特に若年者層の流出
- ・高齢化が著しく進行
- ・地理的条件が不利
- ・社会基盤整備の遅れ
- ・空き家、遊休施設等の増加

※人口、面積は令和2年国勢調査から。

離島の状況

○法指定の離島振興地域
7市町9地域、**有人離島31島**

☞長崎、沖縄に次いで
全国3位

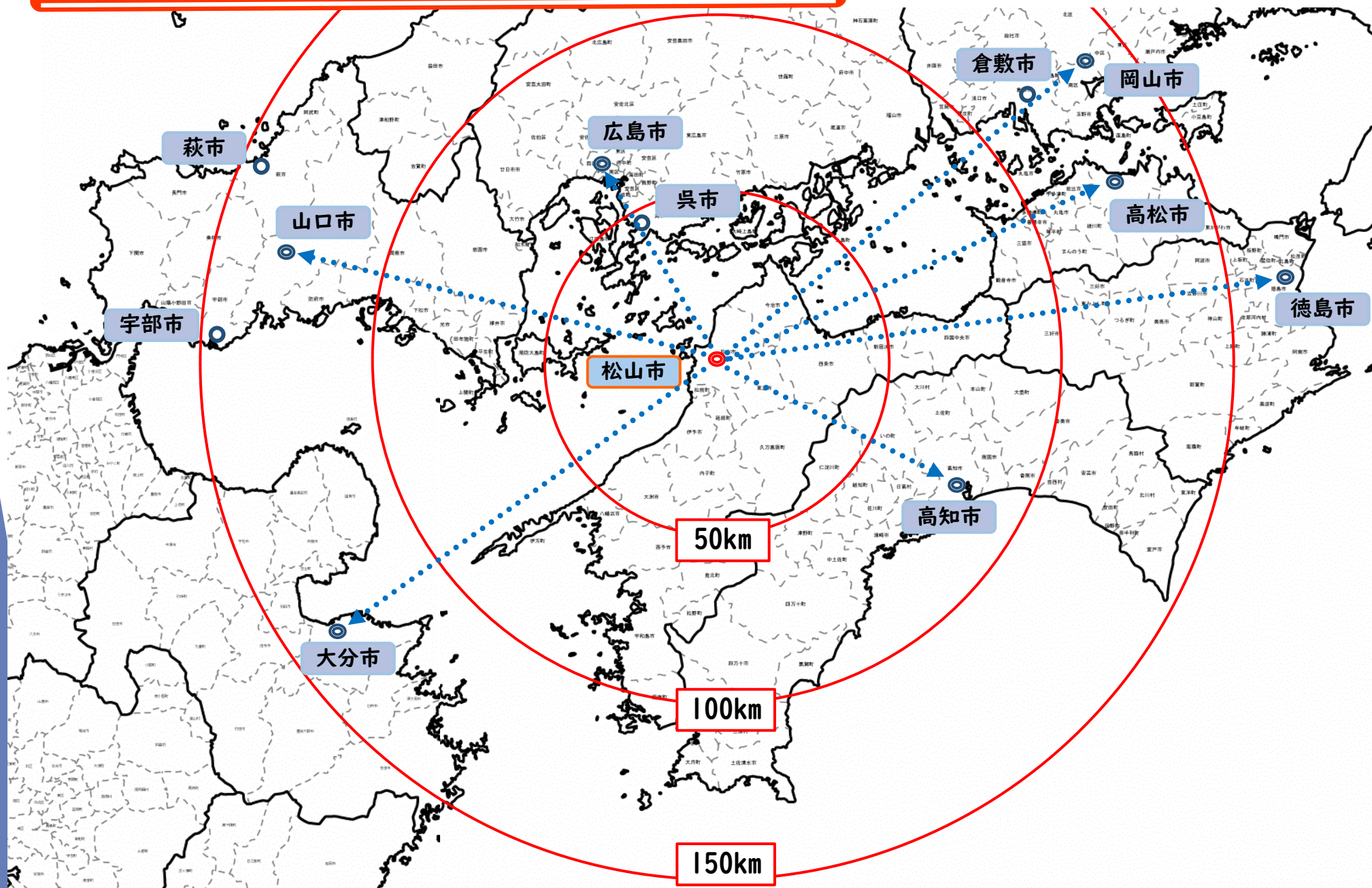
人口：11,671人（県の0.9%）
面積：90.40km²（県の1.6%）

【地域の抱える課題】

- ・過疎化、高齢化が著しく進行
- ・地理的条件が不利
- ・人や物の移動手段の維持
- ・災害時の避難・孤立防止対策

※人口は令和2年国勢調査、
面積は令和6年4月国土交通省資料から。

愛媛県と近隣県との位置関係



愛媛県のこれまでの取組状況（全体）

▶ 令和4年度

- ・「空飛ぶクルマ」関連企業等訪問（5月：東京都）
- ・シンポジウムの開催（7月）
- ・勉強会の開催（12月、3月）
- ・実機「HEXA」有人実証飛行（3月）
- ・先進県視察（8月：三重県）
- ・全国自治体ネットワーキングへの参加（9月：東京都、令和5年1月：三重県）

▶ 令和5年度

- ・運航ルート等調査事業の実施（6月～令和6年2月）
- ・ワークショップの開催（6月）
- ・全国自治体ネットワーキングへの参加（9月：長崎県、令和6年2月：山梨県）
- ・AAM 広域実装 行政ネットワーク（瀬戸内エリア）第1回への参加（11月）
- ・勉強会の開催（10月、令和6年2月）

愛媛県のこれまでの取組状況（全体）

令和6年度

- ・【今治市共同】離発着場候補地環境等調査事業（9月～7年2月）
- ・香川県の空飛ぶクルマ実証飛行の視察（9月）
- ・空飛ぶクルマ自治体ネットワーキングへの参加（北海道：9月）
- ・勉強会の開催（2月）



愛媛県における
「空の移動革命」実現に向けた推進ネットワーク
令和6年度勉強会

日時
2025年2月21日（金）
14:00～16:30

会場 ※定員100名。オンラインは制限なし
みなと交流センター はーばりー みなとホール
（今治市片原町1丁目100-3）

翌日2月22日（土）にイオンモール今治
新都市で開催の「しまなみ近未来フェア」
には空飛ぶクルマもやってくる！
詳細は今治市HPをご確認ください。

プログラム
1 開会
2 挨拶・趣旨説明
3 講演等
①愛媛県における空飛ぶクルマに関するこれまでの取組みについて
（愛媛県交通政策室）
②「愛媛県及び今治市における『空飛ぶクルマ』運転実現に向けた離発着候補地等環境調査事業」の成果発表
（株式会社大 事業戦略推進統轄部 新事業イノベーション推進部 課長代理 仙波 寛正 氏）
③eVTOL商業運航開始に向けたSoracileの取組み～より身近な新しい空の移動価値の創造を目指して～
（株式会社Soracile 代表取締役 太田 幸宏 氏）
④質疑応答及びディスカッション
（モデレーター：株式会社日本政策投資銀行 産業調査部 調査役 岩本 学 氏）
4 閉会

申込方法
次のURLにアクセスし、必要事項を記入のうえお申し込みください。
<https://logoform.jp/form/XG6n/899639>（右の二次元コードからもアクセス可能）
※お申し込み後、開催日までに、メールにて参加URL等をお送りします。

6

＜主催＞愛媛県 ＜共催＞株式会社日本政策投資銀行
【お問合せ先】愛媛県企画振興部政策企画局地域政策課交通政策室
TEL:089-912-2251 Mail:koutsuseisak@pref.ehime.lg.jp

シンポジウムの開催 (令和4年7月)

- ▶ 愛媛県が「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた取組を開始することを発表

- ▶ 四国経済産業局

慶應義塾大学大学院SDM研究科

デロイトトーマツコンサルティング

日本航空

SkyDrive

セイノーHD を講師にお招きした講演

- ▶ 愛媛県版ロードマップを公表

- ▶ 推進ネットワークを立ち上げ、幅広く参加を呼びかけ

Advanced Air Mobility SYMPOSIUM

愛媛県における 空の移動革命 シンポジウム



「空飛ぶクルマ」の実用化は、決して遠い未来のことではありません。多くの社会課題を抱える地方において、通勤・通学交通、緊急医療、災害救助、観光、物流などに大きな役割を果たすとともに、新たなビジネスを創出することが期待されています。愛媛県における「空の移動革命」実現に向けた第一歩を踏み出すため、県民の皆様の理解促進と機運醸成を目的として、シンポジウムを開催します。

日時 令和4年 7月20日 水 13:00～15:40 (12:30開場)

会場 愛媛県県民文化会館 メインホール 愛媛県松山市道後町2丁目5-1

定員 会場 500名 オンライン 定員なし

参加方法 愛媛新聞社ホームページ内、専用フォームよりお申し込みください。二次元コードからアクセスできます。

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、完全オンライン視聴方式となる場合がありますので、会館前には、HPをご確認ください。



愛媛県 県民文化会館 メインホール

至道後温泉

至松山南町郵便局

至松山東警察署

至松山東高校

至松山市役所

至松山

至松山

お問い合わせ 愛媛新聞社営業局「愛媛県における空の移動革命シンポジウム」係

TEL 089-935-2322 (平日9:00～17:00) FAX 089-941-8111

メール kikaku-soramobi@ehime-np.co.jp

主催 愛媛県

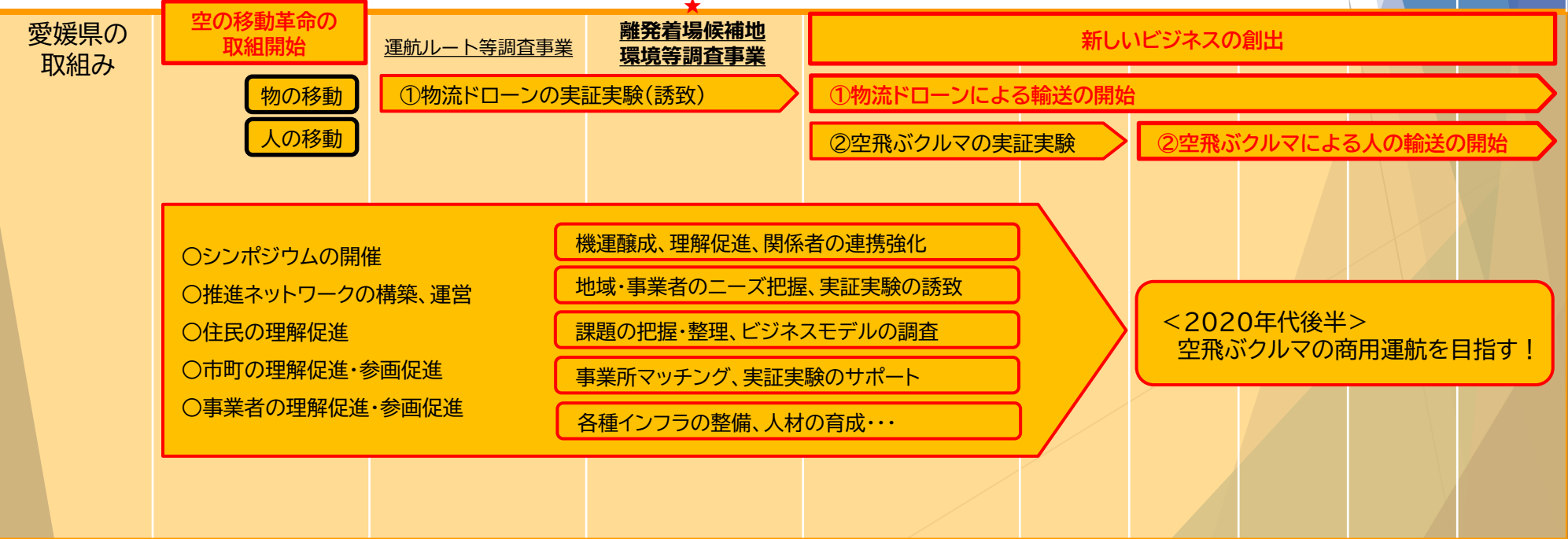
共催 DBJ 日本政策投資銀行 Development Bank of Japan

後援 四国経済産業局 Economic Bureau of Shikoku, Trade and Industry

〇〇 Dream On

愛媛県の「空飛ぶクルマ」の取組計画

	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)～
海外の動き		海外企業が機体認証取得			各国で実装が進展				
			欧米大都市で旅客輸送サービス開始						
日本の動き	試験飛行・実証実験等			大阪・関西万博で商業サービス開始		都市・地方における商用運航・サービスエリア拡大			
	法制度整備、離着陸場整備、技術開発、社会受容性向上等								



県内の推進ネットワークの構築

空飛ぶクルマを広く普及させるには、地域社会の理解を得ることはもとより、
運航事業をはじめとする様々な事業の提供が必要であることから、
幅広い関係者の参画を得て、社会実装を推進するネットワークの構築を図ります。



第1回勉強会の開催 (令和4年12月)

- ▶ 空飛ぶクルマ・物流ドローンの最新動向
株式会社日本政策投資銀行 調査役 岩本 学 氏
- ▶ 県内自治体の取組発表
 - ・ 今治市の取組発表
 - ・ 新居浜市の取組発表
- ▶ 事業者の取組紹介
 - ・ 空飛ぶクルマに関する取組みについて
西日本旅客鉄道株式会社 デジタルソリューション本部
ビジネスデザイン部（エアモビリティ担当） 柴田 大輔 氏
 - ・ ドローンによる医薬品配送について
豊田通商株式会社 ネクストモビリティ推進部
ビジネスイノベーショングループ 主任 石川 達也 氏

有人実証飛行＋第2回勉強会の開催 (令和5年3月)

- ▶ 3月19日に新居浜市にて、
- ▶ 3月21日に今治市にて
HEXA有人実証飛行を実施
- ▶ 3月20日に第2回勉強会と
参加者を対象とした機体見学会を実施

【勉強会の内容】

- 今治市における「空飛ぶクルマ」社会受容性
向上の取組について

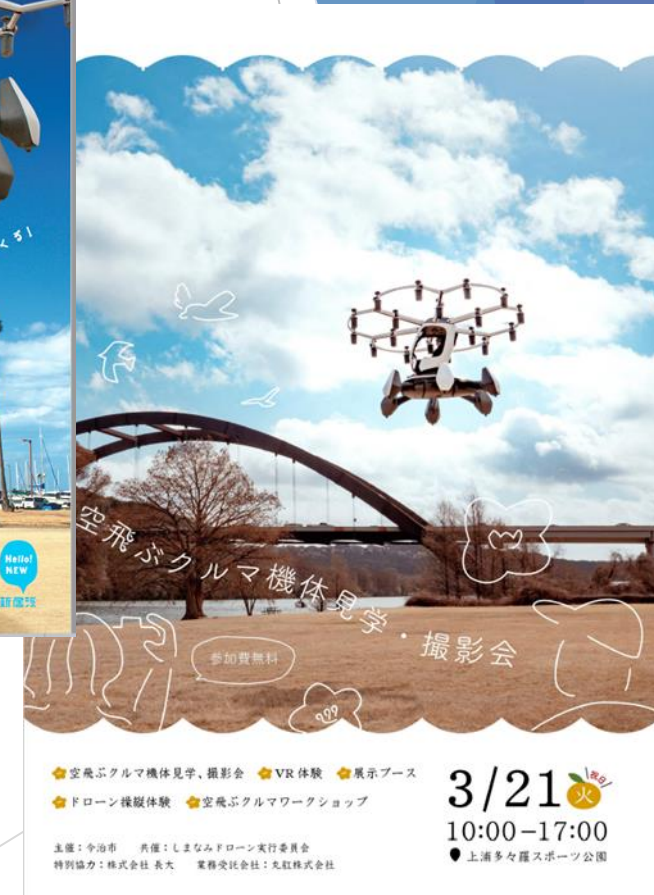
今治市 市民が真ん中課 藤岡 洋 氏

- 事業者の取組紹介

- ・空飛ぶクルマの国内外動向について
デロイトトーマツコンサルティング合同会社
ディレクター 海野 浩三 氏

- ・空飛ぶクルマ社会実装に向けた丸紅の取組
丸紅株式会社 航空宇宙・防衛事業部 航空第三課長 吉川 祐一 氏

- ・空飛ぶクルマ事業展開に向けたロードマップ
株式会社長大 執行役員 事業戦略推進統轄部 統轄部長 菊地 英一 氏



第3回勉強会の開催 (令和5年6月)

「推進ネットワーク」参加事業者の40歳

以下の若手を対象としたワークショップ

- ▶ 県内3箇所（今治・新居浜・松山）で開催（今治市、新居浜市と共催）
- ▶ 定員は各会場30名・計90名
- ▶ テーマは
 - 「空飛ぶクルマ」が提供する価値・実現する社会とは（今治・新居浜）
 - 「ストレスのない移動」を実現するためには（松山）
- ▶ 講師は、慶應義塾大学大学院SDM研究科 広瀬 毅 特任助教、中田 実紀子 特任助教、田中 康平 特任講師 の3名

愛媛県における「空の移動革命」実現に向けた推進ネットワーク
若手社員・職員向けワークショップを開催します！

（主催：愛媛県、共催：今治市、新居浜市、㈱日本政策投資銀行）

参加者募集

最近話題となっている「空飛ぶクルマ」。電動・自動で垂直離着陸する次世代のエア・モビリティは、過疎地・離島との交通、救急医療、災害救助などへの活用や、新たなビジネスの創出につながることが期待されています。

★「空飛ぶクルマ」が提供する価値とは？

★ ストレスのない移動をどの実現するか？

★ 愛媛は、地方は、どのように変わるか？

等について考えるアイデア発想ワークショップを開催します。愛媛県における「空の移動革命」実現に向けて熱意ある若手の参加をお待ちしています！



日時・会場 3会場で計3回開催・定員：各会場30名（計90名）※

＜今治会場＞
令和5年6月22日（木）
14：00～17：00
（集合時間 13：45）
みなと交流センター
「はーばりー」
（今治市片原町一丁目100番地3）

＜新居浜会場＞
令和5年6月23日（金）
9：00～12：00
（集合時間 8：45）
新居浜市消防防災合同庁舎
5階災害対策室
（新居浜市一宮町一丁目5-1）

＜松山会場＞
令和5年6月23日（金）
16：30～19：30
（集合時間 16：15）
サイボウズ松山オフィス
（松山市二番町3-7-12 QUALITA
MATSUYAMA 3階）

※企業や自治体等の若手社員・職員（原則として40歳以下）を対象とします。個人での参加も可能です。

開催内容

- ・講演（30分）
演 題：システム×デザイン思考とは
- ・ワークショップ（2時間30分）
今治・新居浜会場：「空飛ぶクルマ」が提供する価値・実現する社会とは
松山会場：「ストレスのない移動」を実現するためには
講 師：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
白坂成功教授（監修）、田中康平特任講師、広瀬毅特任助教、中田実紀子特任助教

参加申込方法

令和5年6月12日（月）までに、下記申込フォームからお申込みください。
＜申込フォームのURL・2次元コード＞
<https://logoform.jp/form/XG6n/272008>



【お問合せ先】愛媛県企画振興部政策企画局地域政策課交通政策室
TEL:089-912-2251 Mail:koutsuseisak@pref. ehime. lg. jp

第4回勉強会の開催 (令和5年10月)

物流ドローンをテーマに絞って開催

- ▶ 「ドローン物流に係る動向と課題について」

NEDO 次世代空モビリティの社会実装に向けた
実現プロジェクト プロジェクトマネージャー

森 理人 氏

- ▶ 「地域物流の効率化を目指す新スマート物流
“SkyHub®”の取り組みについて」

(株)エアロネクスト代表 取締役CEO 田路 圭輔 氏

- ▶ 「VTOL無人機K-RACERを活用した物資輸送サービス
事業の取り組みについて」

川崎重工業(株) 社長直轄プロジェクト本部

近未来モビリティ総括部 グローバルマーケティング
&セールス部 課長代理 VTOL無人機K-RACER

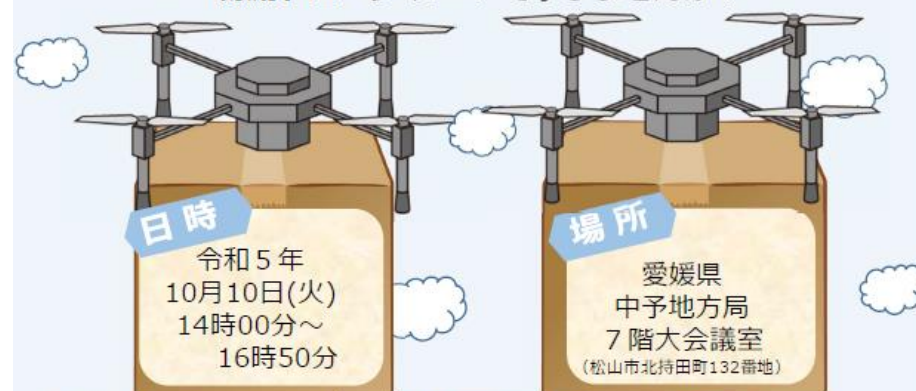
プロジェクトリーダー 櫻井 崇晴 氏

ドローンを活用した課題解決、事業化の検証（愛媛
県の皆様とともに）

株式会社伊予銀行地域創生部参与 五十嵐 修氏

「愛媛県における空の移動革命実現に向けた推進
ネットワーク」令和5年度第2回勉強会開催します！

～ 物流ドローン について学びませんか？ ～



開催内容

- 挨拶・趣旨説明（愛媛県交通政策室長）
- 講演等
 - ・ドローン物流に係る動向と課題について
(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 森 理人 氏)
 - ・地域物流の効率化を目指す新スマート物流“SkyHub®”の取り組みについて
(株式会社エアロネクスト代表取締役CEO 田路 圭輔 氏)
 - ・VTOL無人機K-RACERを活用した物資輸送サービス事業の取り組みについて
(川崎重工業株式会社 社長直轄プロジェクト本部近未来モビリティ総括部
グローバルマーケティング&セールス部 櫻井 崇晴 氏)
 - ・ドローンを活用した課題解決、事業化の検証（愛媛県の皆様とともに）
(株式会社伊予銀行地域創生部 参与 五十嵐 修 氏)
- 質疑応答及びパネルディスカッション
(モデレーター：株式会社日本政策投資銀行 産業調査部
調査役 岩本 学 氏)
- ・参加者名刺交換会

オンラインも
併用するけん！



定員

会場：100名
オンライン：定員なし

令和5年10月2日(月)までに、下記申請フォーム
からお申込みください。

<申込フォームのURL・2次元コード>

<https://logoform.jp/form/XG6n/352546>



【お問合せ先】愛媛県企画振興部政策企画局地域政策課交通政策室

TEL:089-912-2251

Mail:koutsuseisak@pref.ehime.lg.jp

第5回勉強会の開催 (令和6年2月)

運航ルート調査事業の結果発表を兼ねて開催

- ▶ 「愛媛県における『空飛ぶクルマ』運航ルート等調査事業の成果発表」
株式会社長大 事業戦略推進統括部
新事業イノベーション推進部 主査 中上 英之 氏
※運航ルート調査事業受託事業者
- ▶ 「次世代エアモビリティと気象観測」
日本気象株式会社 技術研究センター
技術本部長 神田 勲 氏
- ▶ 「今治市島嶼部における無人航空機を活用した物流実用化事業の実証実験について」
株式会社伊予銀行 地域創生部
参与 五十嵐 修 氏

「**愛媛県**における
空の移動革命 実現に向けた
推進ネットワーク」令和5年度第**3**回勉強会開催！

＜主催＞愛媛県 ＜共催＞株式会社日本政策投資銀行

2/13（火）14：00～17：00（開場13：30）
場所：愛媛県庁第一別館11階会議室

定員：100名
オンライン：制限なし



挨拶・趣旨説明（愛媛県交通政策室長）

講演①

「愛媛県における『空飛ぶクルマ』運航ルート等調査事業の成果発表」

株式会社長大
事業戦略推進統括部
新事業イノベーション推進部
主査 中上 英之氏

講演②

次世代エアモビリティと気象観測

日本気象株式会社
技術本部長
神田 勲氏

講演③

今治市島嶼部における無人航空機を活用した物流実用化事業の実証実験について

株式会社伊予銀行
地域創生部
参与 五十嵐 修氏

質疑応答及びパネルディスカッション
（モデレーター：株式会社日本政策投資銀行 産業調査部 調査役 岩本 学氏）

参加者名刺交換会

令和6年2月6日（火）までに、下記申請フォームからお申し込みください。
＜申込フォームのURL・2次元コード＞
<https://logoform.jp/form/XG6n/471229>

【お問合せ先】愛媛県企画振興部政策企画局地域政策課交通政策室
TEL:089-912-2251 Mail:koutsuseisak@pref.ehime.lg.jp



運航ルート等調査事業の実施 (令和5年6月～令和6年2月)

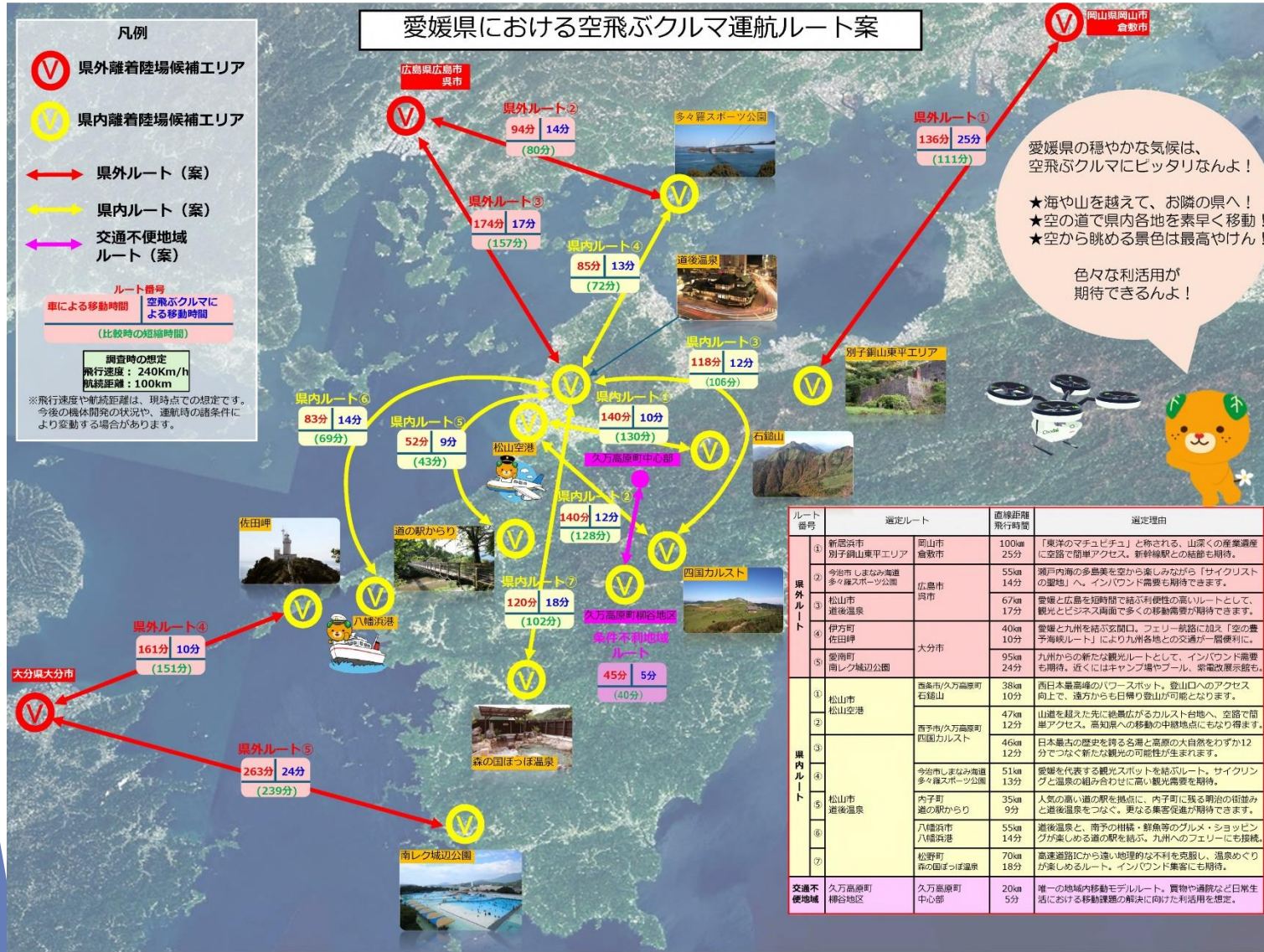
▶ 愛媛県における運航ルート案を調査

- ①県内外を結ぶルート
- ②県内を結ぶルート
- ③離島・半島・中山間地域など
交通不便地帯での活用ルート

の3種類を調査し、県内全域を結ぶ
空の交通ネットワークをイメージして
もらう

- ▶ 株式会社社長大様に委託
- ▶ 第5回勉強会において調査結果を発表

運航ルート等調査事業の実施 (令和5年6月～令和6年2月)



離発着場候補地等環境調査事業の実施 (令和6年9月～令和7年2月)

- ▶ **今治市と共同で実施。**令和5年度の調査結果から、特に社会実装の可能性が高いと考えられる今治市の島しょ部における離発着場の整備等に関して、社会実装に必要な事項を調査。
- ▶ (1) 離発着場の整備等に必要な事項の調査
- ▶ (2) 具体的な飛行経路の設定等に必要な事項の調査
- ▶ (3) 運航事業者等へのヒアリング
- ▶ (4) 事業化に向けた課題等の整理

まとめ

- ▶ 万博を契機として全国各地で空飛ぶクルマの社会実装に向けた検討が進んでいることを踏まえ、最新の国の動向や事業者の取組、県や市町の活動状況等を、推進ネットワークの勉強会の開催を通じて周知・啓発することで、空飛ぶクルマへの理解促進と参入意欲の醸成を図る
- ▶ 県内外の自治体、関係機関との連携強化
 - ⇒しまなみ地域での取組みを促進するとともに、県内の他地域も含めて「空飛ぶクルマ」の取組みを広げる
 - ⇒近隣県や関係機関との連携を強化し、広範囲での社会実装の促進を図る